

平成25年度（2013年度）日本留学試験

日本語

（125分）

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～29
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**、**2**、**3**、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*						
名前													

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください
(句読点を含む)。

- ① 現代では、住み慣れた場所を離れて、文化や言語の異なる国や地域に移り住む人が増えています。このような場合、移り住む人は、「その地域の文化や言語を学ぶ」、「自分の文化や言語を相手に伝える」などして、その地域の人々とよい関係を築こうとします。
- あなたなら、その地域の人々とよい関係を築くためにどうしますか。上の二つの例に触れながら、あなたの意見を理由とともに述べてください。

- ② 自分を成長させたり向上させたりするためには、「得意なものに集中して、より高いレベルを目指す」という方法や、「苦手なものに集中して、苦手なもののレベルを上げる」という方法があります。
- あなたなら、自分の成長や向上のためにどのようなことをしますか。上の二つの方法に触れながら、あなたの意見を理由とともに述べてください。

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

V 次の文章で、筆者は、芸術作品とはどのようなものだと述べていますか。

5

芸術作品を立体的に理解しようとするとき、作品を受容するわれわれの側の「眼の習慣」の妥当性や普遍性について、少なくとも問題意識は持つておかねばならない。われわれがものを見て判断する基準は、かならずしも個人の主観や感性だけに由来するわけではない。われわれは真空のなかに*ぼつねんと浮かぶ無機質な幾何学的存在ではない。自分が育ち、生きる時代の空気を呼吸している。そして、その時代や社会自体も、生き物と同じく多様かつ有機的な成り立ちをもち、日々生成変化をとげる。

したがって異なった**時空にある「作品」と向かい合い、それを理解しようと望むならば、美的な価値判断をも含めた、われわれ自身の判断基準や価値観の由来を問いなおしてみることもまた必要ではなからうか。作品を前にするわれわれと同じく、当然のことながら、「作品」もそのづくり手も特定の時代や社会の子なのであるから。かならずしもわれわれと似通った価値観をもっているとはかぎらない。そこにわれわれの日常的スケールでは計り知れない時空が介在する場合を想像していただきたい。

(清瀬みさを『人文学としての芸術研究』法律文化社)

*ぼつねん：一人だけで寂しそうにいる様子

**時空：時間と空間

1. 芸術作品には、時代を越えた普遍的価値観が存在する。
2. 芸術作品には、その当時の時代や社会の価値観が反映されている。
3. 現代美術と違って、過去の芸術作品には明確な時代様式がある。
4. 芸術作品はいつの時代でも、社会の価値観から独立している。

VII 次の文章はある本のあとがきです。筆者はこの本について、どのように述べていますか。

7

本書はいわゆる「専門書」ではありませんが、本書に書いたようなことは他の専門書を見ても書いてあるわけではありません。もともと私は、専門書と啓蒙書^{けいもうしょ}とを区別するのが嫌いなのです。ガリレオの『天文学対話』や『新科学対話』のように、「もっとも本格的な研究書は啓蒙的でもある」というのが私の考え方なのです。そこで私は、自分の研究成果が「一般の人々にも知らせるに値するほどにオリジナリティーがある」と思えるときには、いつもその研究論文を大衆的な言葉で書くということをしてきました。そして、この本もそういうものと考えています。

そこで、これに相当する専門書をべつに書こうとは思っていません。「専門書としてもこれでほぼ十分だ」と考えているからです。重要な典拠論文などは本書の中でも、一般の人々に*煩瑣^{はんさ}と思われない範囲で書き込んでありますから、本書のほかに専門家向きの論文を書くまでもないと思っているのです。

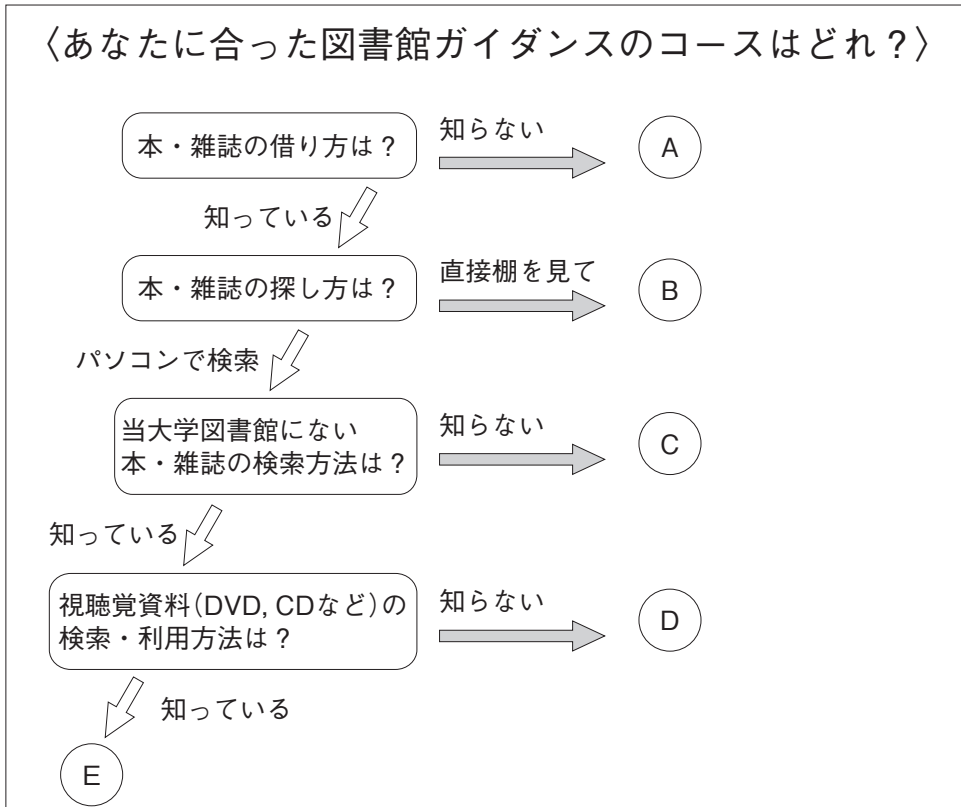
(板倉聖宣『模倣の時代 下』仮説社)

*煩瑣：こまごまとしてややこしいこと

1. この本の内容は、昔の有名な研究について紹介したものである。
2. この本は専門家向けであり、人々への啓蒙^{けいもう}を目的としたものではない。
3. この本は、ガリレオの著書をわかりやすく説明したものである。
4. この本では、専門的な内容を一般の人でもわかる言葉で書いている。

VIII 次の文書は、大学図書館のガイダンスのコースを選ぶときの資料です。この資料を読んで、結果がCにあてはまる人は、どのコースを受けるのが適当ですか。

8



1. この大学の本・雑誌をパソコンで検索する方法を知るコース
2. 他大学の本・雑誌が探せるようになるコース
3. 本・雑誌以外の資料の検索方法を知るコース
4. 図書館の利用方法全般を学ぶコース

XII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

アメリカをはじめ欧米諸国の建築教育とわが国のそれとは、かなり違いがあると言われているますが、その最大の相違点は、建築教育における構造教育の位置づけのようです。わが国では、建築教育における構造教育の比重が極めて大きく、デザイン教育と同等か見方によっては、それ以上の比重を占めているとも言ことができます。

さらには、構造教育が理想的な建築空間の実現を目指すこと以上に、建築の耐震性の確保を中心テーマに据えた教育プログラムのように思われるほどです。これは、近代化がやっと軌道に乗りはじめた時点でいくつかの地震による災害を目の当たりにした建築教育の*先達^{せんだつ}たちが受けた衝撃の強さを色濃く反映したものと言えます。

芸術性の高い、素晴らしい建築を設計することに大きな夢を抱いて建築学科に入学してきた若者たちにとって、数学や物理的要素の強い構造学の学習は、大きな（ A ）のようですが、わが国の置かれている自然環境を考えると、やむをえないと言えるでしょう。構造の知識の豊富な建築家と建築がわかる構造技術者の養成によって、安心できる建築や都市をつくることを、先達は目指したのでしょうか。

(精木紀男「地震国での建築と都市づくり」建築学教育研究会編
『新版 建築を知る』鹿島出版会)

*先達：その分野の発展に貢献した人

問1 (A)に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

13

1. 希望
2. 弱点
3. 目標
4. 負担

問2 「わが国」の建築教育の特徴として、最も適当なものはどれですか。

14

1. 構造教育よりデザイン教育に重点を置いている。
2. 耐震などの構造教育に、欧米諸国以上に力を入れている。
3. 芸術感覚にすぐれた建築家の養成を最優先としている。
4. 理想的な建築空間の実現を目指した構造教育が中心である。

XV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

法と道徳は異なる社会規範ではあるが、実際には、法と道徳は密接に関係している場合が多い。例えば、人を殺してはならない（殺人罪）とか、借りた物は返さなければならない（貸借契約）という規範は、法規範と道徳規範が一致するものである。もっとも、法は道徳の内容をすべてとり入れているわけではない。道徳には、*「汝の敵を愛せよ」のように内容があまりに高度すぎて容易に守れないものもあり、このような場合は法規範とはならず、「法は最小限の道徳」であるともいわれている。これとは別に、法と道徳の内容が重なり合わない無縁な関係もある。例えば、歩行者の右側通行を定めた交通法規や訴訟手続や国の機関の組織を定めた法などの技術的内容は、道徳的には無色である。ただし、技術的な法も定められた以上は、それを守ることは道徳の要求となる。このように、法と道徳は緊密に関係し互いにその効力を補強しあっているといえる。つまり、道徳が法に取り入れられる場合には、法的強制によって道徳を社会にいきわたらせることができるし、法もまた道徳によって支持され道徳的な**遵法意識によって裏づけられる場合には、法が社会に根を下ろし広く行われることができるのである。

（長尾良子「法と社会」上田純子・三枝有・長尾良子・森田勉『現代社会と法』法律文化社）

* 「汝の敵を愛せよ」：「あなたの敵を愛しなさい」

** 遵法：法を守ること

問1 下線部「道徳が法に取り入れられる場合」の例として、最も適当なものはどれですか。

19

1. 借りた物は返さなければならない。
2. 自分の敵を愛さなければならない。
3. 歩行者は道路の右側を歩かなければならない。
4. 刑事裁判では必ず弁護人を付けなければならない。

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

20

1. 道徳は高度で、法より尊重すべき規範である。
2. 法は道徳の内容を完全に取り入れたものである。
3. 道徳規範と一致しない法は、守らなくても道徳に反しない。
4. 法と道徳はお互いに効果を強め合っている。

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

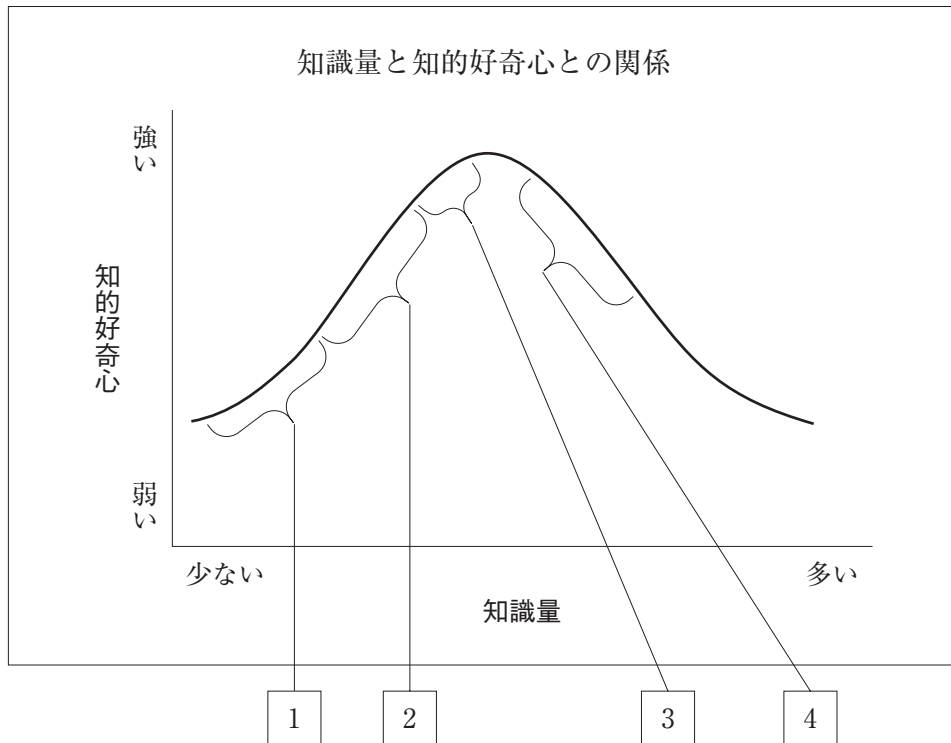
問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1 番の前に、一度、練習をします。

1 番

男子学生が、心理学の時間に知的好奇心について発表しています。この学生の歴史に対する今の知識量と知的好奇心は、グラフのどの部分として表すことが適当ですか。 1

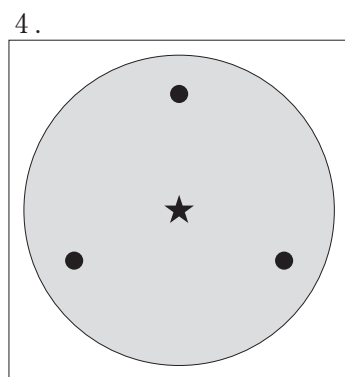
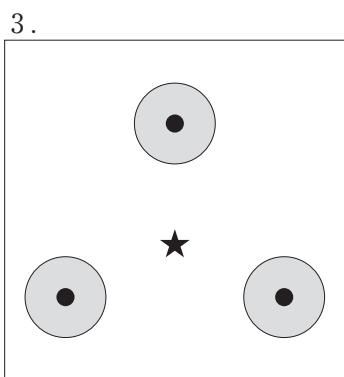
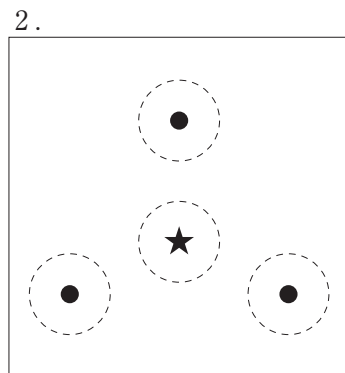
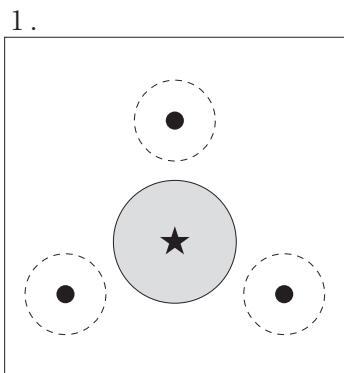
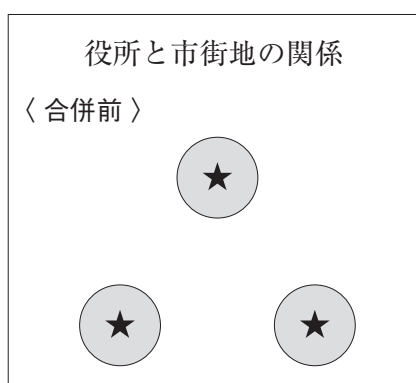


(海保博之『学習力トレーニング』岩波書店 を参考に作成)

3 番

先生が、複数の地方自治体が合併したことによる街の変化について説明しています。先生が説明している自治体は合併後、最終的にどのようになりましたか。

3



(片柳勉「都市合併の類型からみた『平成の大合併』」『地理』通巻608号 古今書院 を参考に作成)

4 番

男子学生が女子学生に、自分達で企画した講演会のスケジュールについて相談しています。
この男子学生は午後のスケジュールをどうすることにしましたか。

4

第7回日本文化研究会 スケジュール（予定）

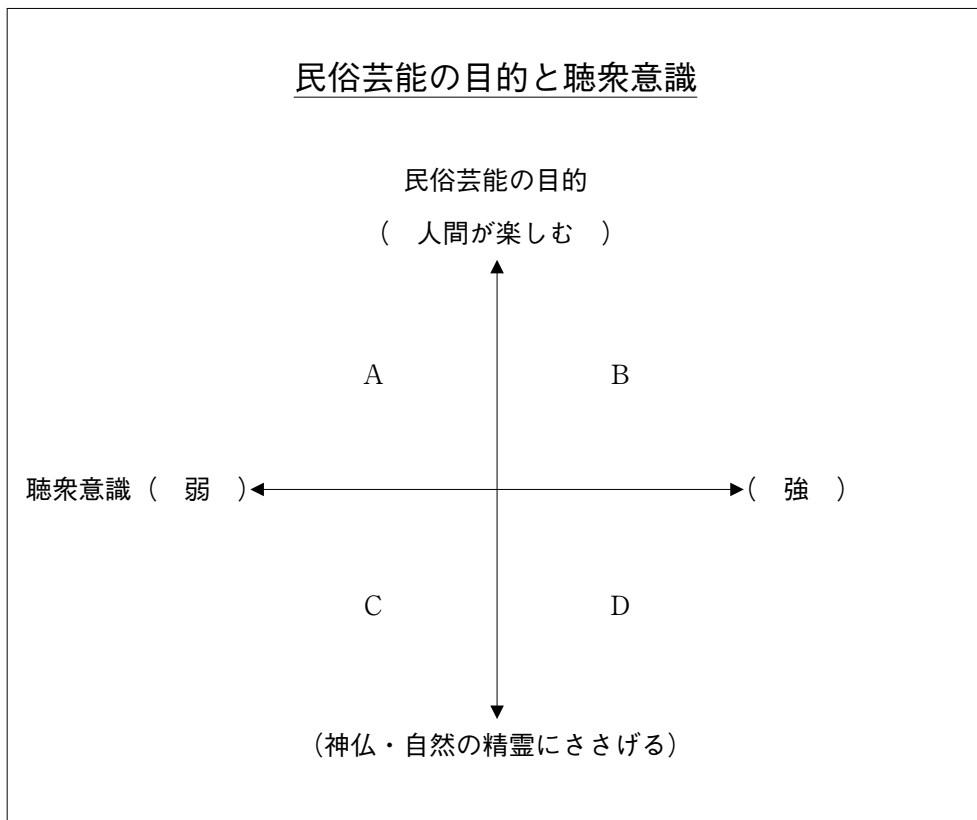
10：30～10：45	開会の言葉（主催者）	
10：45～12：00	特別講演「アジアの若者と日本文化」	岩崎妙蔵氏（高瀬大学）
12：00～13：00	昼食	
13：00～13：40	発表①「日本文化はどのように受け入れられたか——米国の場合」	岡本節子氏（都山大学）
13：40～14：20	発表②「フランスでの日本文化の受容」	阿部一郎氏（京東大学）
14：20～15：00	発表③「日本における伝統文化継承」	小林美智夫氏（京東大学）
15：00～15：20	休憩	
15：20～16：00	発表④「日本の若者にみられるアメリカ文化の影響」	高崎公男氏（谷丘大学）
16：00～17：00	パネルディスカッション	
17：00	閉会	

1. 発表① → 休憩 → 発表② → 発表③ → 発表④
2. 発表① → 発表② → 休憩 → 発表③ → 発表④
3. 発表① → 発表② → 発表③ → 休憩 → 発表④
4. 発表① → 発表② → 発表③ → 発表④ → 休憩

9 番

先生が、民俗芸能について話しています。この先生が挙げた例は、図のどの部分からどの部分に変化しましたか。

9



(伊野義博「民俗音楽・民俗芸能における聴衆と異文化受容」)

日本音楽表現学会編『音楽表現学のフィールド』東京堂出版 を参考に作成)

1. CからA
2. CからB
3. DからA
4. DからB

11番

先生が、唾液の作用について話しています。先生はこのあとの作用について説明しますか。

11

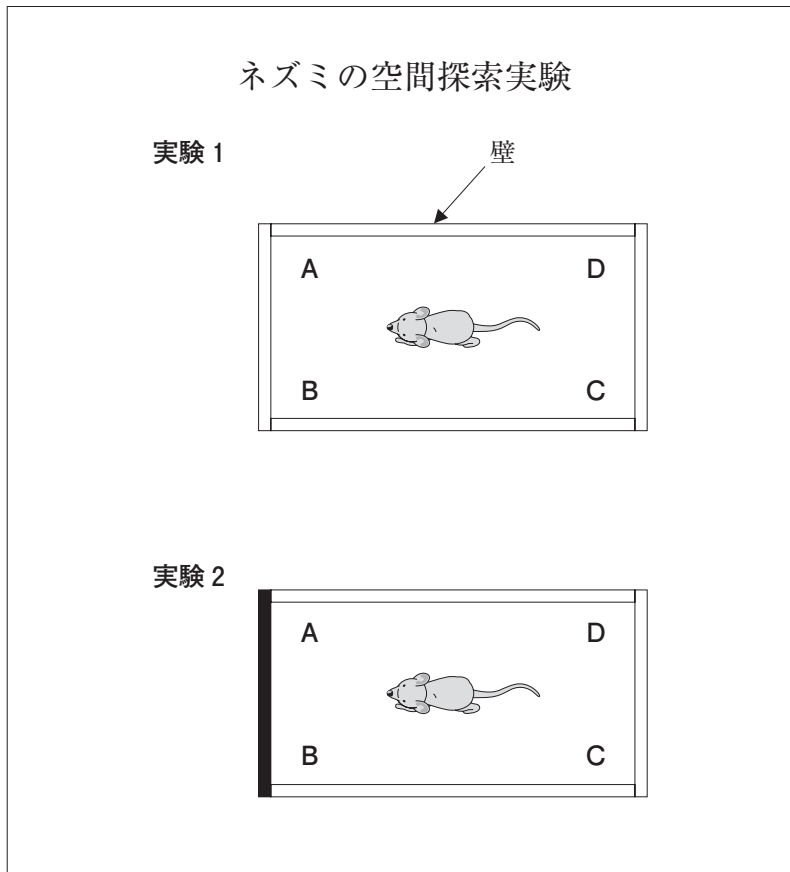


(宮西ナオ子『唾液はなんでも知っている!』三五館 を参考に作成)

12番

先生が授業でネズミを使った空間探索の実験について話しています。実験2では、ネズミは何を手がかりにえさのある場所を探すのだと考えられますか。

12



(今井むつみ『ことばと思考』岩波書店 を参考に作成)

1. 壁の長さ
2. 壁の色
3. 壁の長さとは色
4. 壁の高さ

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。